

共通カリキュラム（必須）

最低修得単位（12単位）

初期総合カリキュラム……………2単位

後期総合カリキュラム……………1単位

教授・講座主任による講義……………5単位

（講義は5回の受講で1単位）

実 習……………4単位

形態学系専攻……………2単位

機能学系専攻……………2単位

社会医学系専攻……………2単位

先端生命医科学系専攻……………2単位

（実習は上記いずれかの2専攻を選択する。）

内科系・外科系専攻は以下の単位を履修するものとする。

臨床共通講義……………1単位

臨床医学系実習……………1単位

大学院初期総合カリキュラム

A コース (形態学系・機能学系・社会医学系および先端生命医科学系専攻を対象)

	時 間	講義・実習科目	担 当	会 場	講義・実習内容
H29. 4. 17 (月)	10:00-10:25 ＊	大学院の使命	大学院委員	臨床講堂 2	大学院生に望むこと 大学院カリキュラム
	10:35-12:00 ＊	動物実験の基礎知識 (講義)	実験動物中央施設 丸教授/施設長	臨床講堂 2	動物実験と実験動物：動物実験の目的と取り組み方、倫理と法規制、動物モデルなど
	13:00-16:00	動物実験の基礎知識 (見学・実習)	実験動物中央施設 丸教授/施設長 上芝助教	臨床講堂 1	実験動物中央施設の見学、各動物を用いた動物実験の基本手技のデモ
4. 18 (火)	9:00-10:25 ＊	分子細胞生物学総論	小田教授	臨床講堂 2	細胞の構造と機能およびその調節と異常
	10:35-12:00 ＊	遺伝医学総論	山本(俊)准教授	臨床講堂 2	遺伝の法則、遺伝子の構造と発現、遺伝子医療、倫理
	13:00-14:25	形態学的手法の原理と実際①	柴田教授	臨床講堂 1	免疫組織化学の原理
	14:35-16:00	形態学的手法の原理と実際②	森川講師	臨床講堂 1	電子顕微鏡の原理とデモ
4. 19 (水)	9:00-10:25 ＊	再生医工学総論 (講義)	先端生命医科学 センター 清水教授、岩田准教授、 松浦准教授、	TWIns 2F 会議室	幹細胞、組織工学、バイオマテリアル、人工臓器と各種臓器再生(歯周組織、角膜、血管、肝臓、腎臓、心臓など)
	10:35-12:00 ＊	医療倫理	木林教授	TWIns 2F 会議室	生命倫理、説明と同意、研究倫理、個人情報
	13:00-16:00	再生医工学総論 (見学・実習)	先端生命医科学 センター 秋山講師、中山講師、 小林講師、関根講師、 青木助教、関谷助教、 高橋助教、高木助教、 菊池助教	TWIns 2F 会議室	TWIns 内の施設見学 (C P C、大動物実験室、小動物実験室、微細加工室、組織臓器作製室)、装置のデモンストレーションおよびバイオマテリアル実習
4. 20 (木)	9:00-10:25 ＊	RI、放射線の基礎知識	総合研究所 小田教授/所長 総研 RI 室 永野室長	臨床講堂 2	取扱い、処理、法令 研究利用の例
	10:35-12:00 ＊	環境・産業医学総論	松岡教授	臨床講堂 2	環境医学、産業医学、 トキシコロジー研究など
	13:00-16:00	研究手法の原理と実際	総合研究所 竹宮准教授 田邊テュアトラック准教授	臨床講堂 1	研究設備・装置見学、デモ
4. 21 (金)	9:00-12:00 ＊	医学情報処理 I (講義・実習)	尾崎教授 讃岐非常勤講師	中央校舎 9F 実習室	医学情報入門 論文・医学図譜作成法 医学統計処理
	13:00-16:00	医学情報処理 II (講義・実習)	尾崎教授 讃岐非常勤講師	女性生涯教育 支援センター 1階 ICT ラボ	プレゼンテーションとデータ 整理の大技・小技

時間欄＊印：Bコースと共通

大学院初期総合カリキュラム

B コース (内科系、外科系専攻を対象)

	時 間	講義・実習科目	担 当	会 場	講義・実習内容
H29. 4. 17 (月)	10:00-10:25 ＊	大学院の使命	大学院委員	臨床講堂 2	大学院生に望むこと 大学院カリキュラム
	10:35-12:00 ＊	動物実験の基礎知識 (講義)	実験動物中央施設 丸教授/施設長	臨床講堂 2	動物実験と実験動物：動物実験 の目的と取り組み方、倫理と法 規制、動物モデルなど
	13:00-14:25	遺伝子診断・治療学 総論	松尾講師	臨床講堂 2	遺伝カウンセリング
4. 18 (火)	9:00-10:25 ＊	分子細胞生物学総 論	小田教授	臨床講堂 2	細胞の構造と機能およびその 調節と異常
	10:35-12:00 ＊	遺伝医学総論	山本(俊)准教授	臨床講堂 2	遺伝の法則、遺伝子の構造と発 現、遺伝子医療、倫理
	13:00-14:25	医事法	木林教授	臨床講堂 2	医事法、医事判例分析
	14:35-16:00	臨床薬理学総論	丸教授	臨床講堂 2	薬の概念の拡大、分子標的治療 薬を叩き台とした薬理学と薬 物動態の基本
4. 19 (水)	9:00-10:25 ＊	再生医工学総論 (講義)	先端生命医科学 センター 清水教授、岩田准教 授、松浦准教授、	TWIns2F 会議室	幹細胞、組織工学、バイオマテ リアル、人工臓器と各種臓器再 生(歯周組織、角膜、血管、肝 臓、腎臓、心臓など)
	10:35-12:00 ＊	医療倫理	木林教授	TWIns 2F 会議室	生命倫理、説明と同意、研究倫 理、個人情報
	13:00-14:25	加齢医学総論	久保講師	臨床講堂 2	老化、老年症候群、総合機能評 価、klotho 遺伝子
	14:35-16:00	臨床病理学総論	澤田教授	臨床講堂 1	臨床検査、病態解析、外科病理 概論(組織診/細胞診)
4. 20 (木)	9:00-10:25 ＊	RI、放射線の基礎知 識	総合研究所 小田教授/所長 総研 RI 室 永野室長	臨床講堂 2	取扱い、処理、法令 研究利用の例
	10:35-12:00 ＊	環境・産業医学総論	松岡教授	臨床講堂 2	環境医学、産業医学、 トキシコロジー研究など
	13:00-13:50	社会保障/医療経済	加藤准教授	臨床講堂 2	社会保障制度、介護保険制度、 医療経済実態、社会保障給付 費、国民医療費等
	14:00-14:50	病院管理	加藤准教授	臨床講堂 2	患者安全、医療リスクマネジメ ント、チーム医療、医療事故調 査制度等
4. 21 (金)	9:00-12:00 ＊	医学情報処理 I (講義・実習)	尾崎教授 讃岐非常勤講師	中央校舎 9F 実習室	医学情報入門
	13:00-14:25	臨床試験総論	山口教授	臨床講堂 2	臨床研究デザイン、観察研究 介入研究、治験
	14:35-16:00	EBM 総論	山口教授	臨床講堂 2	疫学、情報の質、判断分析

時間欄＊印：Aコースと共通

大学院後期総合カリキュラム

	時 間	講義・実習科目	担 当
H30.1.19 (金)	9:00-10:00	医学研究計画のたて方 基本的問題 研究の種類	新田教授
	10:00-11:00	論文の書き方 原著論文以外の論文の構成	澤田教授
	11:00-12:00	医学教育 教育能力の自己開発	大久保教授
1.22 (月)	9:00-11:00	医学研究計画のたて方 研究計画立案 ・研究の目的と解決したい疑問 ・疑問に応じた研究の流儀 関連する文献の収集とその検証	岡本教授
	11:00-12:30	医学研究計画 研究計画立案 ・研究計画における医学統計的側面	馬場園教授
	13:30-15:00	論文の書き方 原著論文の構成	田中教授
	15:00-16:00	論文の評価 (実習)	北川教授
1.23 (火)	9:00-10:30	医学教育 マイクロ・ティーチングの実践 (1)	大久保教授
	10:30-12:00	医学教育 マイクロ・ティーチングの実践 (2)	大久保教授
	13:00-15:00	論文発表の倫理 法的問題 投稿雑誌の評価と投稿の方法	近藤准教授

場所 臨床講堂2 (1月23日は中央校舎9階実習室の予定)

I 医学研究計画のたて方と論文の書き方

総時間数10時間 (担当者)

1. 研究計画立案にあたって

1-1 基本的問題

- (1) 人権と倫理
- (2) 動物倫理
- (3) 共同研究者との契約

1-2 研究の種類

- (1) 臨床研究、応用研究と基礎研究
- (2) 論文の種類: 原著、症例報告、総説
その他 (Rapid communication, note, Letter to the editors など)

1時間
新田教授

1-3 研究計画立案

- (1) 研究の目的と解決したい疑問
- (2) 関連する文献の収集とその検証 (批判的吟味で証拠を評価)

到達目標

- 1. 研究活動の手順を説明できる。

キーワード

- 研究で解決したい疑問あるいは検証したい仮説
- 研究デザイン
- データ収集 (対象の選択、観察あるいは測定)
- データ分析
- 解釈・結論

- 2. 文献の収集と吟味について説明できる。

- 系統的収集
- 系統的吟味 (批判的吟味)
- 研究の妥当性

- 3. 目的に応じた研究の流儀

Research traditionsを説明できる。

- 生物学の流儀
- 農学の流儀
- 疫学の流儀
- 民俗学の流儀

2時間
岡本教授

- (3) 研究計画における医学統計的側面

- 1) 仮説の設定とその検証のためのデザイン
- 2) データ収集法
- 3) データの分析と表示法

1時間30分
馬場園教授

2. 研究結果の提示方法 (論文の作成)

2-1 原著論文の構成

- (1) タイトルのつけ方

- 1) タイトルのねらい
- 2) よいタイトルの条件
- 3) タイトルをつける際の注意点

- (2) 序論 (Introduction)

- 1) 序論の要素
- 2) 序論に書くべき内容
- 3) 序論を書くときの注意点

- (3) 方法 (Methods)

- 1) 対象 (材料) と方法 (Subjects and Methods) の目的
- 2) 標準的な構成とは
- 3) 書くときのコツ
- 4) 見出しのつけ方
- 5) 内容と順序

- (4) 結果 (Results)

- 1) 主な目的
- 2) 記載内容の注意点
- 3) 記載の順序
- 4) 必要な要素
- 5) 表の役割と構成
- 6) 図の効果的な使い方
- 7) 図の説明

- (5) 考察 (Discussion)

- 1) 考察の意義
- 2) 考察の構成要素
- 3) 考察を書く際の注意
- 4) 段落の構成の仕方

- (6) IMRAD以外の部分

- 1) 謝辞 (acknowledgments) の述べ方
- 2) 文献 (References) の意義と選択基準

1時間30分
田中教授

2-2 原著論文以外の論文の構成 (1)症例報告 (2)総説 (3)その他		1時間 澤田教授
3. 論文発表の倫理 3-1 盗作、剽窃、詐欺的行為 (misconduct in research and publication) 3-2 二重投稿 3-3 著作権と共著者の合意 3-4 利益相反		2時間 近藤准教授
4. 投稿雑誌の評価と投稿の方法 4-1 評価:citation index、impact factor 4-2 投稿 (1)投稿規定の遵守 (2)編集長への手紙の書き方 (3)査読者への手紙の書き方		
5. 英文論文の書き方		
6. 論文の評価(実習) 論文を与えて、評価させる		1時間 北川教授
Ⅱ 医学教育学		総時間数4時間 大久保教授

1. 学習と教育の共通点
2. マイクロ・ティーチングによる講義、プレゼンテーション能力の自己開発
 - 2-1 マイクロ・ティーチング法の概念
 - 2-2 マイクロ・ティーチング法の実践

番号	講義日	担当(敬称略)・所属	講義名	講義概要
H29-1	2017.5.16(火) 17:00-20:00	微生物学免疫学 八木 淳二教授	スーパー抗原性外毒素の誘導する生体異常反応について	スーパー抗原性外毒素は、通常の活性化機構とは異なるユニークな機構でT細胞を活性化する。 本講義では、スーパー抗原性外毒素の働きについて概説し、どのような生体異常反応を誘導するか考えてみたい。
H29-2	2017.6.19(月) 17:00-20:00	皮膚科学 川島 眞教授	皮膚から心が見える	アトピー性皮膚炎はアレルギー素因と皮膚バリア機能低下を基盤とする炎症性皮膚疾患であるが、以前は小児の疾患であったが、最近では成人例も増えている。 その臨床症状を観察すると心の問題が見えてくる。
H29-3	2017.7.10(月) 17:00-20:00	循環器内科学 萩原 誠久教授	日本人の冠動脈疾患における脂質管理	脂質異常症治療の最大の目的は脳・心血管イベントの抑制であり、そのほとんどはスタチン投与と厳格なLDL-コレステロール管理によって既定されている。 本講義では、女子医大における冠動脈疾患患者の結果をもとに、日本人における脂質異常症の管理について解説する。
H29-4	2017.9.12(火) 17:00-20:00	衛生学公衆衛生学（第一） 松岡 雅人教授	環境ストレス応答研究と論文作成・投稿のアドバイス	これまでの論文作成、査読、エディターとしての経験に基づき、論文作成・投稿について、大学院生の皆さんへアドバイスする。 また、環境ストレス応答・適応機構に関する当研究室での研究成果について紹介する。
H29-5	2017.10.16(月) 17:00-20:00	歯科口腔外科学 安藤 智博教授	周術期口腔機能管理について	がん患者等の周術期における歯科医師等による包括的な口腔機能管理により、治療に伴う合併症/有害事象の減少、入院期間の短縮、医療費の抑制などが期待されている。
H29-6	2017.11.20(月) 17:00-20:00	内科学（第一） 玉置 淳教授	咳嗽と喀痰の病態と治療	喘息およびCOPDの患者が共通して訴える症状には、呼吸困難（前者は発作性、後者は慢性進行性）とならんで咳嗽と喀痰がある。 そこで本講義では上記症状に焦点を絞り、その病態と治療について詳細に解説する。
H29-7	2017.12.18(月) 17:00-20:00	眼科学 飯田 知弘教授	黄斑の神秘	眼はきわめて精巧にできており「小さな宇宙」を形成している。 ヒトは日常情報の80%以上を視覚から得ており、その中枢は黄斑、特に中心窩である。謎だらけで神秘的な黄斑の世界と一緒にちょっと覗いてみましょう。

番号	講義日	担当(敬称略)・所属	講義名	講義概要
H29-8	2018.1.16(火) 17:00-20:00	国際環境・熱帯医学 杉下 智彦教授	21世紀の医療と社会デザイン	グローバル化の進展に伴う健康格差という課題に対して、相互扶助に基づく社会の連帯、さらには地球の未来のためのグランドデザインを描くことの重要性が問われています。様々な社会課題を取り上げ、医療の未来像について、皆さんと共に考えます。
H29-9	2018.2.20(火) 17:00-20:00	医学教育学 大久保 由美子教授	キャリアを考える	医師として専門性の高い業務をしていくのか、地域に根付く医療を行うのか、国際的な活動をするのか。 研究者として活動するのに必要なものは何か。 自分の生活と仕事について自ら納得するためには、周囲との関係性にどう向き合うか。 皆さんと共に考えていきたいと思います。
H29-10	2018.3.19(月) 17:00-20:00	精神医学 西村 勝治教授	リエゾン精神医学の新たな展開	高度先進医療においてメンタルヘルスの問題はますます重視されています。 臓器移植、循環器疾患、膠原病などの領域を例にリエゾン精神医学の新たな展開を紹介します。